

竜の子新聞

荒木竜二が伊藤市長を質問



平成22年3月5日の一般質問であらき竜二が登壇し、倉敷市ボリ公園跡地開発の諸問題に絞り、4つの質問と1つの要望をしました。

- ① 周辺住環境の維持について
- ② 市民からの機能面の意見や要望の反映について
- ③ 防災機能を有する公園について
- ④ 市民からの意見・要望の把握と反映について質問しました。

要望として、周辺住民をはじめとした市民の御意見・ご要望をよくお聞きし可能な限り反映した公園整備や、イトーヨーカ堂との協議に臨むようお願いしました。

(2/3面)

倉敷市の施設整備等の状況

真備総合体育館

平成23年度完成予定



この体育施設は、市民の健康維持・レクリエーションの場として、また、スポーツを通じた青少年の健全な精神の育成など社会教育の場として、豊かな市民生活を支える基盤施設であり、災害への対応を図る防災拠点としても機能する施設です。

船穂武道館

平成23年度完成予定



船穂武道館は、現在の老朽化した船穂武道館の立て替えを基本として、市民が気軽に利用できる地区に根ざした体育施設として整備されます。

又、誰もが利用しやすく分かりやすいユニバーサルデザインを取り入れています。

〔仮称〕玉島市民交流センター 平成23年度完成予定

既存施設である玉島八公民館、玉島公民館別館、玉島労働会館、玉島武道館と隣接する玉島球技場(テニスコート)、阿賀崎公園、阿賀崎公園広場の機能も含めた多機能施設の一体的整備を行い管理します。建物の外観は玉島地域の風土を取り入れ、体育棟の屋根の曲線は港町玉島から瀬戸内の穏やかな波を、中ホールのガラス曲線は、玉島の特産物である桃をイメージしています。また、建物内では、玉島のお茶の伝統を活かした三間続きの茶室や池田遙邨・坂田一男顕彰記念室、歴史民族海洋資料展示室など、玉島の特徴を活かした整備を行う予定です。



〔仮称〕玉島市民交流センター 平成23年度完成予定

〔仮称〕玉島市民交流センター 平成23年度完成予定

島のお茶の伝統を活かした三間続きの茶室や池田遙邨・坂田一男顕彰記念室、歴史民族海洋資料展示室など、玉島の特徴を活かした整備を行う予定です。

〔仮称〕児島市民交流センター 平成23年度完成予定

児島公民館、児島図書館、児島勤労青少年ホーム、児島働く婦人の家、児島労働会館の機能を集約し、一体的に整備・管理運営を行います。

改修棟は、既存の瀬戸大橋架橋記念館の外観は残して、大空間を生かした改修を行います。図書館や中ホール等が入る新築棟は、児島の暖かい日差しをふんだんに取り入れた明るい空間のある建物です。また、橋の広場は、全面芝生広場に改修し、市街地の中心にのんびりと太陽の光を楽しむことができる開放的な空間として整備されます。



〔仮称〕児島市民交流センター 平成23年度完成予定

ご挨拶

すっかり春めいてまいりましたが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。ようやく予算編成が終わり、記事にある通り、大変厳しい編成となりましたが、かねてからの懸案事項が先送りすることなく、着実に実施することができ、一安心しているところですが、しかし気を抜くことなく、新年度に向けて、ますますパワーアップしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

さて、唐突ながら、皆様のマイブームは何でしょうか。私のマイブームは少林拳法です。今、春の昇段試験に向けて、週に3回、稽古に励んでいます。胸衣を着けると、自然に背筋が伸びる気がするから不思議です。諸先輩や子どもたちと、ただひたすらに汗を流し、稽古をしていると、自分の未熟さを感じます。どうしてできないんだろう。悩みます。

しかし、稽古が終わると、元気がいっぱい、明日するべきことが頭に浮かびます。

市政と少林寺、どちらも一生懸命頑張った結果を待つ。意外と向いているのかもかもしれないと思う今日この頃です。

次回の「竜の子新聞」には昇段試験の御報告を致しますね。皆さまに良い報告が出来るよう頑張ります。

倉敷市議会議員 荒木竜二

市政報告
発行 あらき竜二
倉敷市川入 641-5
TEL & FAX : 086-434-8185
http://www.ryu2.biz
e-mail: info@ryu2.biz

ホテル復活プロジェクト 伊藤市長と荒木竜二



酒津のホテルを親しむ会

一昨年6月から取り組んできました「ホテル復活プロジェクト」いよいよ酒津にホテルビオトープが完成し、平成21年12月20日に完成式と幼虫放流を行いました。私たちのホテル復活の夢が一步一歩確実に近づいています。

<http://sakadu-hotarujugenjip>

倉敷市一般会計 1,633 億円 10%増、過去最大規模に

2月定例会倉敷市議会が開会され(平成22年2月19日~3月17日)一般会計当初予算案など41議案を原案通り可決しました。2010年度当初予算は一般会計は1,633億5,700万円で、前年度当初比10.0%増、半額支給が始まる国の「子ども手当」などが押し上げ、過去最大規模となりました。

普通建設事業費は前年度当初比31.9%増の224億7,619万円、市道や下水道といった生活基盤整備で前年度並みを確保しつつ、玉島、児島両地区の市民交流センター整備など、小中学校校舎等耐震化事業費、まちづくり交付金事業費や、合併関連事業の大型事業費を先送りすることなく着実に実施することとしたため、地域経済への波及効果が期待できる建設事業費については約54億円増加となりました。

主な事業では、電気自動車普及に向け、1台につき2

0万円(300台まで)の購入補助、10万円の急速充電器設置補助(同)を設けることとし、900万円を組みました。

ほかに、児島市民交流センター整備31億8,400万円、玉島同12億8,800万円、倉敷駅前東土地区画整理事業8億1,800万円となりました。

歳入は、市税収入が景気低迷の影響による企業業績の悪化や個人の給与所得の減少などにより、前年度から約53億円の大減額となりました。平成21年度当初予算額よりも、本年度はさらに約48億円減の747億9,200万円となる見込みです。

地方交付税は21億円増の119億円、翌年度以降に交付税措置がある臨時財政対策債は48億円増の98億円を見込みますが、それでも約28億円が不足し、財政調整基金を取り崩す大変厳しい予算編成となりました。

特別会計は前年度当初比2.0%増の109.5億9,200万円、児島ポート等の企業会計は10.5%増の44.5億5,300万円となりました。

伊東市長に質問



周辺住環境の維持

質問 敷地内外の駐車場の確保や、出入口の問題を含めた交通渋滞や長時間停車する車、例えば、観光バスなどの排気ガスや騒音などの対応について市としては、これまでもイトーヨーカ堂に要望を要請してきている事ですが、どのような回答を得ているのか、また、今後どのように協議していくのかお聞かせ願いたい。

市長 市といたしましては、これまでもクラブウ並びにイトーヨーカ堂に対して、交通渋滞対策の徹底などお願いしてきているところがございます。

先般、周辺地域の皆様からいただいた車の騒音や排気ガス、交通安全及び敷地周辺の良好な環境の維持などに関するご要望につきまして、早速イトーヨーカ堂にお伝えし、十分に配慮した対策を要請していたところ、敷地外周辺及び等積交換後用地の植栽を検討いただくことになりました。

また、去る2月20日の市民説明

会では、イトーヨーカ堂に駐車場を敷地外に分散して確保することや、警察協議等も含めしっかりとっていただくというお話をさせていただいたところですが、

倉敷市としても、周りの都市計画道路特に昭和宮前線などの見直しを行っていきたくと考えております。今後、イトーヨーカ堂との協議の場や、大規模小売店舗立地法に基づく手続きなどを通じて、周辺環境に最大限配慮した対策を要請してまいりたいと存じますので、宜しくお願いたします。

市民の皆さまからの機能面での要望

質問 市長は子育ての支援ともなるような公共的機能を民間開発に導入するように要請していると思いますが、高齢者の方々からは、自分達も憩えて楽しめるような機能も是非検討いただきたいという声をよくお聞きします。また、緑道・緑地整備の中で子どもたちが水生生物や昆虫の観察が出来る、命や環境保護の大切さについて体験できるような環境など、周辺住民や幅広い層の市民からの意見・要望を可能な限り反映した公園整備をお願いしたいとの声も多数あ

ります。それらを踏まえてイトーヨーカ堂との協議に臨んでいただきたいが、どのようにお考えかお聞かせ願いたい。

企画財政局長 市の公園整備につきましては、2月20日の市民説明会においても「倉敷の魅力を全国に発信できるように公園にしたい」「蜜が生息し、鳥が訪れる公園にして欲しい」などの御意見をいただいているところでございます。

この周辺は、半径500m以内に近隣公園規模の公園がないことから、一定の広がりがある広場を持つ公園として整備いたします。

また、子どもから高齢者まで楽しみ憩える場所とするために、今後どのような公園整備をするかについて、議員のご提言も含め、引き続き市議会や市民の皆様の見解をお伺いしたいと考えております。民間開発への公共的機能の導入につきましては、これまでに、地域の生産者や事業者の皆さまが物販できる機会の定期的な創出、倉敷の特産・名産を取り扱う店舗やスペースの常設、子育ての支援となるような施設の導入などについて、イトーヨーカ堂にお願いをしてき

ております。御指摘の「高齢者が楽しめ憩えるような施設を導入して欲しい」という御意見につきましては、今後イトーヨーカ堂にお伝えしてまいりますので、よろしくお願いたします。

防災機能を有する公園

質問 市長は、緑道・緑地整備の基本的な考え方として災害発生時には、緊急避難や救援作業が行えるような一定の広がり機能を持つ公園としても整備すると示されましたが、どのような災害を想定し、また、収容人員など具体的な機能についてお聞かせ願いたい。

市長 JR倉敷駅周辺は、居住者や駅の利用者に加え、大規模店舗の買い物客など、多くの人々が集中する場所でもあり、災害発生時には、これらの人びとが安全に避難できる場所が必要と考えます。議員お尋ねの想定される災害につきましては、駅周辺の大規模火災主には地震を想定しております。また、緑地の収容可能人員は最大で約1万人程度と考えております。具体的な機能につきましては、「緊急車両の出入口」「救急施設の設

営スペース」「防火樹林帯」「断水時に使用できる非常用トイレ」「炊き出しに利用できるかまどベンチ」などが考えられますが、どのような設備を設置するかは、今後関係部局と協議してまいりますので、宜しくお願致します。

住民意見・要望の把握と反映

質問 市民が直接民間企業に話をするのは大変難しいことだと思えます。機能面の要望や、工事中・工事完成後の諸問題など市民から出された御意見や御要望を市がまとめてイトーヨーカ堂に届けるような運用をこれからも続けていたいただきたいが、どのようにお考えかお聞かせ願いたい。

企画財政局長 今後、イトーヨーカ堂が4月下旬頃の開催を予定されている開発計画の説明会や、その後の大規模小売店舗立地法に基づく説明会などを通じて、市民の皆さまの御意見や御要望を直接お伺いすることになります。市としましては、イトーヨーカ堂に、適切な対応を行うよう要請してまいりますので、よろしくお願いたします。

倉敷市中心市街地活性化基本計画の内閣総理大臣認定

中心市街地活性化の方針「基本テーマ：世界に誇る伝統文化 居心地の良いまち くらしき」



平成22年1月29日付で認定申請した倉敷市中心市街地活性化基本計画が平成22年3月23日付の内閣総理大臣の認定を受けることになりました。

倉敷美観地区を中心とするエリア、倉敷中央病院を中心とするエリア、倉敷チボリ公園跡地を中心とするエリア、その中央に位置するJR倉敷駅及び倉敷駅前商店街を中心とするエリアの

4つのエリアが、それぞれの地域資源や社会資本を活用するとともに、その個性を活かし、調和の取れた美しい景観を保全・形成することで、魅力ある拠点作りを目指すとともに、南・北側のエリア間の交流を軸に各エリア間の交流を促進し、安全・安心で歩いて楽しい活力あふれるまちづくりを目指します。

県立特別支援学校 倉敷・真備設置

昭和39年に市単独で設置した倉敷市立倉敷養護学校は、入学希望者が年々増加を続け、校舎の増築等に対応してまいりましたが、児童生徒にとってよりよい教育環境を維持することが非常に困難になりました。

このような状況を解消するために倉敷市は岡山県に対し、倉敷市内に特別支援学校の新設を要望してまいりました。

その結果、小・中・高等部が整備された県立特別支援学校が設置されることになりました。

予定地は、井原線吉備真備駅近くの民有地、約2万8千平方メートルで倉敷市が用地取得後、費用を全額負担して造成し、県に無償貸与する方針で県教委は、2010年度に施設規模等を含む基本計画を策定する予定です。

文教委員会報告
副委員長 荒木竜二

倉敷地域情報

真備町 維持管理用道路整備

真備町宮田堰



宮田堰の維持管理用通路は、組合員の中には高齢の方が在籍されていることや雨天時等は土手が滑りやすく、とても危険でした。堰までの専用階段及び通路を整備し、安全に維持管理ができるようになりました。

宮前 道路整備

マルナカチボリ店東側路地



老松町5丁目 防犯灯設置

マルナカ老松店北側通学路

この道は、道幅が狭いため以前より買い物客や通行人がバイクや自転車等ですれ違う際に、接触を避けるため側溝に落ちるといふ事故が発生していました。そこで、側溝にグレーチングでふたをし安心して通行できるよう改善しました。

改善後



大島 道路整備

平田口交差点

雨が降ると白線付近に大きな水たまりができ、それを避けて通学する子どもたちに車が接近してとても危険でした。そこで、路面を整備し安心して通行できるように致しました。



万寿 防球ネット設置

倉敷市立万寿小学校

以前は野球やソフトのボール等が校外へ出て、子どもたちがブロッケンや用水を超えて探しに出たりと危険でしたが、ネット設置後は元気で安全に遊べるようになりました。



川西町 防犯灯設置

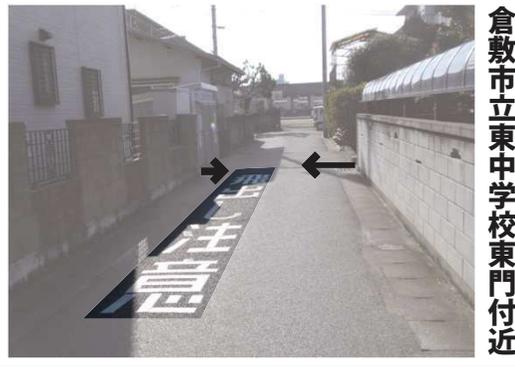
地下道付近(JR山陽本線側道)

倉敷の顔ともいえる駅前での不審者の発生やごみの不法投棄が多発しており通学・全性が懸念されていましたが、防犯灯を設置したところ不審者や不法投棄が減り、地域の安全を確保致しました。



平田 注意表示

倉敷市立東中学校東門付近



この道は、通勤・通学のバイク・自転車から飛び出し車と接触事故の危険があると以前より懸念されていました。そこで、道路への注意表示を行い運転手への注意喚起を行いました。

大内 注意表示

大内内路地

この道は看板の設置が少ないため、タクシーや土地勘のない車が幅員の狭い路地へ入り動けなくなったり、壁に接触する等の事故が多発

浜ノ茶屋 道路整備

浜ノ茶屋1丁目内側道

しておりましたが、看板を設置し注意喚起を行いましたところ無理な車の進入がなくなり安心して地域の皆様が通行できるようになりました。



大内 防球ネット設置

大内公園

公園で遊ぶ子どもたちのボールが隣接する民家の屋根に引っ掛かり、それを取りに行く子どもたちが屋根に上るなどとても危険であった

日ノ出町 道路整備

日ノ出町2丁目内路地

転車等で通る際、路面がガタガタで自転車やバイクが倒れる可能性がありとても危険でした。そこで、路面を整備し安心して通行できるように致しました。



日ノ出町 視線誘導標整備

日ノ出町1丁目内

ため、防球ネットを設置しました。設置後は、子どもたちが元気で安全に遊べるようになりました。



浜町2丁目 視線誘導標整備

万寿幼稚園、倉敷聖松高等学校

